

予算審査特別委員会

第13号議案・令和3年度白石市一般会計補正予算(第11号)から第24号議案・令和4年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・平間知一、副委員長・大森貴之)は、2月25日および28日の2日間にわたり審査を行いました。

その結果、第19号議案・令和4年度白石市一般会計予算については反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和3年度白石市一般会計補正予算(第11号)

総務費

〔質疑〕スパッシュランドしろい

しと白石城の運営継続助成金を計上しているが、新型コロナウイルス感染症などの影響で、どのくらい入館者が減ったのか伺う。

〔答弁〕スパッシュランドしろいしでは、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、令和3年2月の

福島県沖地震で破損した、50メートルプールの天井の応急復旧工事などにより、7月までプールが使用できなかったことから、利用料などによる収入が大きく減少した。

新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった、過去3年間入館者数の平均は、スパッシュランドしろいしで4万7千613人であるのに対し、令和3年度は2万7千人程度、白石城においては、平均9万3千26人に対し、4万2千500人程度と見込んでいる。

農林水産業費

〔質疑〕森林経営管理推進事業について、本市における山林の経営管理状況を伺う。

〔答弁〕令和3年度の森林所有者に対する調査では、「所有する山林の場所や地番、面積を把握しているか。」との問いに、約6割が「知っている」「おおむね知っている」と回答、また、6割弱が「管理を行っていない」という結果であった。

また、「今後、法に基づき市に管理を委託したいか」との問いには、約4割弱が「お願いしたい」と回答している。

本市としては、森林経営管理に基づき、採算の取れる山林については、公募によって希望した民間の林業経営体に整備を委ね、経営に適さない森林については、所有者に代わり、市町村が間伐などを実施し、森林保全を行なっていく必要があると考える。

今後、調査を踏まえた上で、方針を決定していきたいと考える。

◎令和4年度白石市一般会計予算

総務費

〔質疑〕地域おこし協力隊推進事業について、隊員を7人配置するとのことだが、どのようなところに力を入れていく考えか伺う。

〔答弁〕令和4年度は、移住交流分野に隊員1人を予定し、現在、移住交流サポートセンター109-one(トークワン)でコーディネーターが中心に行なっている移住交流に関する相談業務を、地域おこし協力隊員との3人体制で行う。

また、関係人口の拡大分野に隊員4人を予定しており、東京や仙台などの首都圏などから、本市の施設を利用し滞在した方が、仕事をしながらバケーションを行う「ワーケーション」に力を入れていく。

観光振興分野では、今年度も2人の隊員が白石城での甲冑体験などを実施しているが、白石城が工事期間に入ること

から、工事期間中、どのような方向で行なっていくのか検討しながら、工事期間後もコロナ後を見据え、関係人口、交流人口の拡大につなげていきたいと考える。

〔質疑〕国際交流事業について、コロナ禍の中、どのような取り組みを考えているか伺う。

〔答弁〕令和3年度はインターネットを活用し、市内の中学校4校と、オーストラリアのカウラの学校が交流を行なった。

カウラの学校とウェブでつなぎ、互いに地域の紹介をしたり、クイズ形式でそれぞれの地域が分かるような取り組みを実施したが、参加した生徒、担当の先生からは、ある程度の評価をいただいている。

残念ながら、訪問ができない状況が続いているが、子どもたちにとっての国際交流が振興できるよう、さまざまな方策で実施している状況である。